

(様式1)

尼崎市ユース相談支援事業 支援計画兼モニタリングシート

モニタリング日

R 年 月 日

ケースNo.	氏名	年齢	支援開始日
			R 年 月 日 (担当課申請書收受日)

今回モニタリングまでの短期目標	短期目標達成度
	0 100

長期目標	長期目標進捗度
	0 100

前回モニタリング以降の主な支援内容

↓各項目の該当レベル箇所の前にマルをする		
F i v e	対人関係	Level 1 対人恐怖を抱え、他者への警戒心・拒絶心が強く、接触が全くできない状態にある。
		Level 2 他者への警戒心、拒絶感が強い状態であるが、特定の人間であれば接触が可能である。
		Level 3 個別での対人接触は可能であるが、強い苦手意識があり、コミュニケーションが不全である。
		Level 4 小集団での対人接触が可能で、一定の枠組みのしたのでコミュニケーションは可能である。
		Level 5 集団での対人接触が可能で、日常的なコミュニケーションをとることができる。
D i f f e r e n t	メンタル	Level 1 精神疾患を有する状態で、重度の幻覚・妄想や自殺企図があり、自傷他害のリスクが高い。
		Level 2 精神疾患を有する状態で、投薬等によって症状が抑えられているが自傷他害のリスクがある。
		Level 3 精神疾患もしくは境界領域で、ある程度の自制が可能で条件次第で限定的に社会参加ができる。
		Level 4 精神的に不安定である者の、助言等で自制が可能な状態で一般的な社会参加が可能である。
		Level 5 精神的に安定しており、社会生活を営む上での支障がない。
P o s i t i o n s	ストレス	Level 1 ストレス耐性が脆弱で、些細なストレスでも心身に影響が生じるため、社会生活が送れない。
		Level 2 ストレス耐性が弱く、しばしば心身への影響が認められ、社会生活を営む上での困難がある。
		Level 3 ストレス耐性は中程度で、一定のストレスが溜まることで時折、社会生活に支障が出ている。
		Level 4 ストレス耐性が比較的強く、助言等があれば自制が可能で、一般的な社会生活が送れる。
		Level 5 ストレス耐性が強く、自制が可能で社会生活を営む上で支障がない。
P o s i t i o n s	思考	Level 1 全てにおいて悲観的・否定的な考え方で、客観的な意見を受け入れられず自制もできない。
		Level 2 悲観的・否定的な思考で、自制はできないが時として客観的な意見を受容することができる。
		Level 3 悲観的・否定的思考傾向にあるが、助言等を受け入れ、ある程度の自制が可能な状態にある。
		Level 4 一般的な思考傾向にあり、助言等によって物事を合理的に考え、自制が可能な状態にある。
		Level 5 一般的な思考傾向にあり、自ら物事を柔軟に捉えたり、合理的に考えることができる。
P o s i t i o n s	環境	Level 1 虐待やDV、不法行為等の深刻な問題が存在し、行政による緊急介入が必要な状態にある。
		Level 2 家庭内暴力や家族間の対立等の問題が存在し、家族機能が著しく低下した状態にある。
		Level 3 家族間の不和等の家族問題が存在し、家族機能が低下した状態にある。
		Level 4 家族問題が存在するものの、家族機能がある程度保たれている。
		Level 5 一般的な家庭環境で、家族機能が健全に保たれた状態にある。

支援についての振り返り・支援で得た情報・課題・備考など

支援適否判断	次回モニタリングまでの短期目標
支援継続 集中支援・支援減少 停止・終了	

見直しをした場合の長期目標	精神科への受診要否
	必要・不要 要観察

具体的支援計画	次回モニタリング予定月
	R 年 月
	担当課職員: